

|     |     |     |          |
|-----|-----|-----|----------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 対象学年     |
| 芸術  | 美術Ⅰ | 2単位 | 1学年 芸術選択 |

## 1. 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と能力を伸ばす。

## 2. 評価の観点

- ・美術を愛好・尊重し、意欲的、主体的に表現や鑑賞に取り組み、その喜びを味わっている。
- ・感性を働かせて美術のよさや意図を感じ、創造的な表現の工夫をしている。
- ・創造的な美術表現のために必要な知識や技術を身に付けようと努力している。
- ・美術を幅広く理解し、その意図を深く味わっている。

## 3. 評価の方法

- ・学習活動への参加状況（制作へ取り組む姿勢、制作の準備・後かたづけ）
- ・制作した作品（試作品など制作の全過程）
- ・制作ノート（アイディアスケッチや制作計画、自己評価など）
- ・振り返り表の記入

## 4. 年間計画

| 学期          | 題 材        | 学 習 内 容  | 留 意 点  |
|-------------|------------|--|--|
| 一<br>学<br>期 | かいてしよつ     | ・1年間の課題や授業への取り組みについて   | ・学習の目標、目的を考える。<br>・教科書使用。プリント資料配布  |
|             | イラストカード    | ・自己紹介カードの作成  | ・マーカー、色鉛筆など  |
|             | 鉛筆デッサン     | ・デッサンの基礎について（構図、正確な形、明暗、量感、質感）   | ・教科書使用<br>・プリント資料、ワーク配布。   |
|             | イメージトレーニング | ・色彩の基本的な性質について知る。<br>・色調や色の組み合わせやタッチにより、言葉から感じるイメージを表現する。  | ・色見本教材使用<br>・色の特性や働きを理解し、伝達表現のために工夫する。   |
|             | 切り絵        | ・切り口の造形の味わいと明暗のコントラストの美しさを感じとる。<br>・テーマ設定と下絵<br>・切り絵の概要と特徴<br>線がすべて繋がっていることを理解させ、下絵を切り絵用の図案に校正する。<br>・色画用紙（黒または白を基本とする）にトレースする。<br>・カッターナイフ・デザインナイフを使い、制作を進める。<br><br>・台紙に貼り付ける。 | ・参考作品の提示とプリント資料で、イメージを広げさせる。<br><br>・重要な工程なので、個別指導の徹底を図る。<br><br>・他の色も可とするが、コントラストに留意する。<br>・用具（カッター、はさみ、コンパスなど）の正しく効果的な使用と、安全面に留意させる。<br>・制作途中の作品の保管方法<br>・間違えて必要な部分を切り捨てたり、指を怪我させぬように、休憩させるタイミングを図り、集中力が途切れぬように留意する。<br>・ワーク配布 |
|             | 鑑賞         | ・生徒の作品の鑑賞を通して、表現方法の多様性を知る。   |  |

|             |  |  |  |
|-------------|--|--|--|
| 二<br>学<br>期 | 風景画<br>(アクリル画)<br><br>「校内風景」<br><br>鑑賞 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場所や新たな発見を基に目に映る校内風景を描く。</li> <li>パネルの水張りをする。</li> <li>構図や遠近法について理解する。</li> <li>遠景、中景、近景の組み立てや色彩の変化を理解させじっくり観察してスケッチさせる。</li> <li>アクリル絵の具の特性について理解し、着彩する。</li> <li>生徒の作品の鑑賞を通して、表現方法の多様性を知る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント資料配布</li> <li>絵になる風景に拘らず、学校内で心惹かれる風景を見つけさせる。</li> <li>基礎的な透視図法を理解させ、構図を決めさせる。</li> <li>美術室外での制作上の注意。</li> <li>光と陰影に目を向けさせる。</li> <li>描画材の特質を生かして、生き生きとした表現へ繋げる。</li> <li>ワーク配布</li> </ul> |
|             | 絵てがみ                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの手段を楽しむ。</li> <li>下描き無しの一発書きをする。</li> <li>細部にこだわらず、全体的な印象や雰囲気大切に作る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント資料、ハガキを配布</li> <li>こじんまりとにならないように、のびのびと描くよう促す。</li> <li>ワーク配布</li> </ul>  |
|             | 共同制作<br>(モニュメント)                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ分けを行う。</li> <li>共同制作の意義とモニュメントについて話し合う。</li> <li>テーマを決め、アイディアスケッチをする。</li> <li>制作工程について学ぶ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>条件の提示</li> </ul>  |
| 三<br>学<br>期 | 共同制作<br>(モニュメント)<br><br>鑑賞             | <p>陶土による制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示レイアウトについて話し合い、発表の準備をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>工芸室を使用</li> </ul>   |
|             | 一年間を振り返って                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>一年間で制作した作品を展示、鑑賞して、美術 I での制作姿勢を振り返る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の特性や個性について理解を深める。</li> </ul>  |